



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

土壌消毒や土壌生物性について

**防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！**

D-D®

ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ・コガネムシ類幼虫
15~20ℓ/10a 1回/作付10~15日前まで

- ◆ 連作障害の一因である線虫害から守ります
- ◆ ネコブセンチュウの他、ネグサレセンチュウやシストセンチュウにも効果が高い



土壌病害とセンチュウ害を抑えるには・・・

→**バスアミド微粒剤との併用がおすすめ!**
バスアミド微粒剤を土壌混和後、D-Dを注入し表土を被覆。ガス抜き後、作付けする。

クロルピクリン錠剤

詳しい登録内容についてはラベルをご確認ください!

クロルピクリン液剤を特殊な方法で固形化した錠剤タイプの**土壌殺菌・殺センチュウ剤**です!

- 少量の水分で錠剤のフィルムが緩みガスが放出拡散される
- 短期間で消毒可能
(培地消毒の場合
夏季：約10日・秋冬季：約2週間)



バスアミド®

微粒剤



効果を上げるポイント!

- ① **砕土を丁寧に行う**
→固まっている土の内部は消毒されません!
- ② **可能な限り被覆を行う**
→被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなります
病原菌は深層に潜んでいます!
- ③ **センチュウ剤と併用がおすすめ**
→散布混和後、D-D剤を注入・被覆してください
粒状を併用する場合、ガス抜き後に処理してください

地温による被覆期間の目安

地温	被覆期間
25℃以上	7~10日
20℃	10~14日
15℃	14~20日
10~15℃	20~30日以上

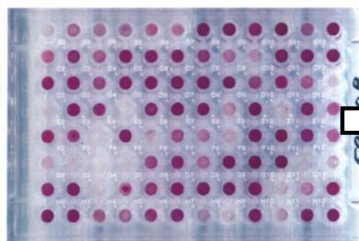
青枯病 30~60kg/10a
ネコブセンチュウ 20~30kg/10a
は種又は定植21日前まで 1回
その他登録内容は
ご確認後使用してください

化学剤を使用して土壌消毒をすると...

右の写真は、化学剤を使用して土壌消毒を行った後の土壌微生物性の変化です(色の濃い部分が微生物の活性が高い)。

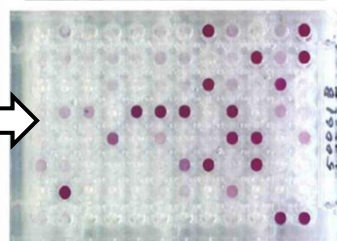
土壌消毒後は全てではありませんが、**有用菌も含めた微生物が死滅**します。この時、病原菌が繁殖してしまうと病気の発生につながるため、新たに**有用菌の生態系**を作ることが重要です。また、**有用菌が繁殖しやすい土台作り**も大切です!

土壌微生物多様性・活性値: 1,338,191 (偏差値: 65.3)



48時間後のプレート発色状態

土壌微生物多様性・活性値: 517,048 (偏差値: 42.6)



48時間後のプレート発色状態

五右衛門

10~20kg/10a
10kg/袋

- ◎ 有機物中の難分解繊維質の分解を促進
- ◎ 有機物中の作物生育阻害物質の分解を促進
- ◎ 有機物施用による有毒ガスの発生を防止
- ◎ 有用微生物が多く存在する豊かな土壌に

直播栽培の圃場ではすきこみから3週間以上あけてください。
ボカシ肥料との併用がより効果的です。



毎月1日掲載
各作物をチェック!

